magazine

八百鮮

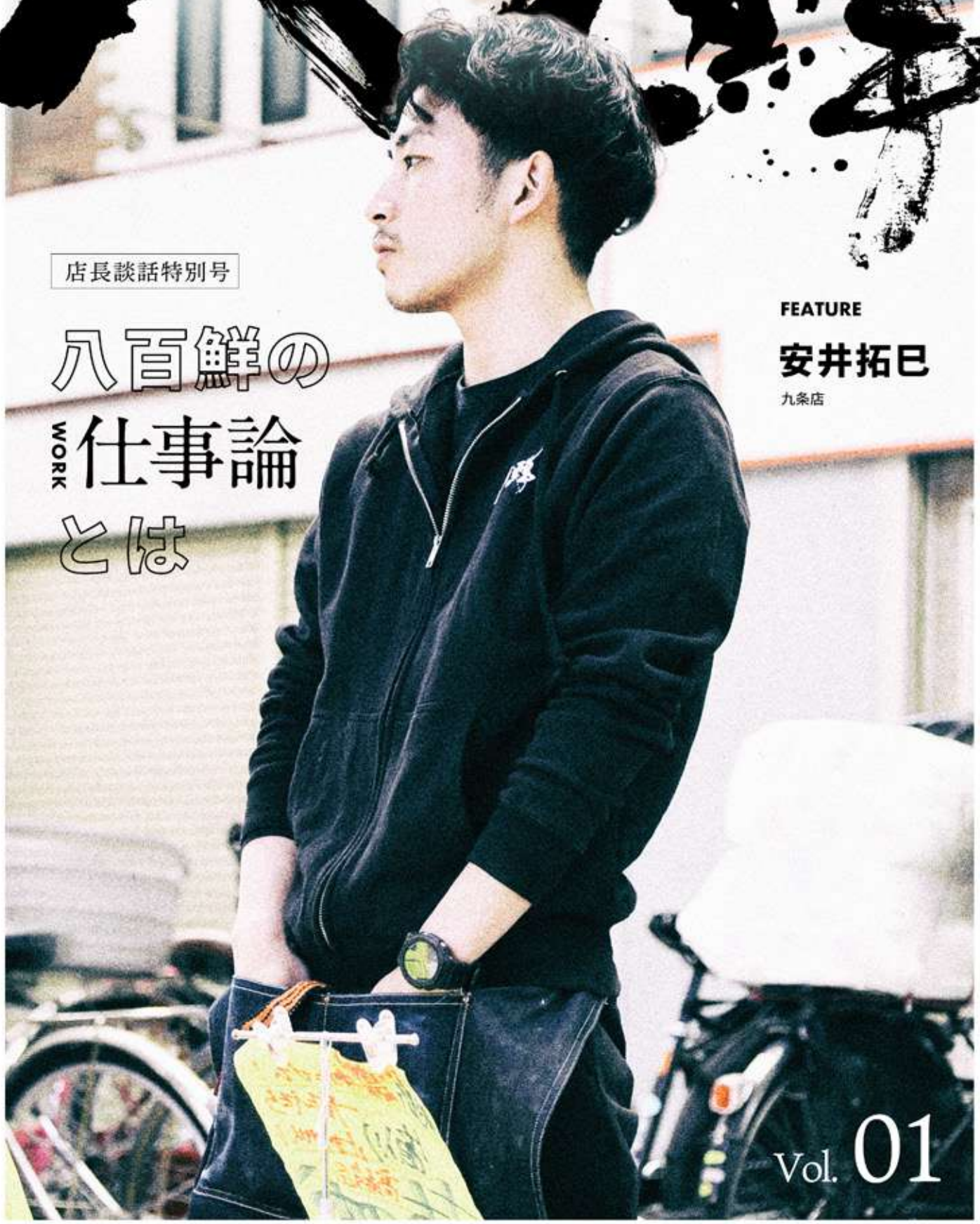
店長談話特別号

八百鮮の WORK 仕事論とは

FEATURE

安井拓巳

九条店



Vol. 01

旨いは世界を救う、
元農業青年の野望。

VOICE

声

店長インタビュー

安井拓巳

九条店 青果部チーフ

農業系の高校から農家を経て、八百鮮九条店店長へと登り詰めた男、安井。若くして野菜の魅力を知り尽くした安井が語るこれまでと今、そしてほんの少しのこれからのこと。

どうして八百屋の道へ？

農家になりたくて、農業系の高校に進んで、卒業後はある農家さんのところに弟子入りさせてもらうような形で雇ってもらいました。だけど、自分の覚悟が弱かったんでしょうね。農業の厳しさを前にして逃げ出してしまったんです。この先どうしようかと思い悩んでいたときに見つけたのが八百鮮の仕事です。19歳の僕が社会に貢献できることって、野菜の知識しかなかったですから。とにかく後がない気持ちで八百屋になりました。

元農家の知識が役立つのはどんなとき？

やっぱり仕入れのときは色々な知識が役に立ちますよね。でも最初の頃は舐められてなかなか上手くいかなかったですよ。19歳の若造ですからね。仲買人さんの手の上で遊ばれたり。でも仕入れたものを売り切って、不利な交渉はしないっていうのを徹底していると段々と認めてもらえるようになりました。失敗もしてきましたけど、今は自信を持って仕入れられるようになりました。

これからの夢は？

同じ釜の飯を食うって仲良くなるために一番近道だと思うんです。家族の絆が深まるのもそうだし、友だちや先輩と仲良くなるのもそう。僕もいろんな人と一緒にご飯を食べて、たくさんいい出会いをしてきました。旨いものつながるって言うのかな。僕自身が野菜を売ることを通して、そういった手伝いをしていけたらいいですね。

「いつだって食べること、野菜が僕の人生をつないできた」真っ直ぐにそう語る安井拓巳という男の人生。これからも多くの人と、野菜に愛されながら、八百屋という一本道をただひたすらに歩んでいく。

八百鮮 九条店

[住所] 大阪市西区九条 1-10-12
（ナインモール九条商店街内）
[TEL]06-6583-8300
[営業時間]10:00〜18:00
[定休日] 日曜日、月曜日が祝日の場合連休